

【日本発売予定車種詳細】

■ちょうどいいサイズに最新のテクノロジーが満載 ミドルサイズ e-SUV 「ATTO 3」

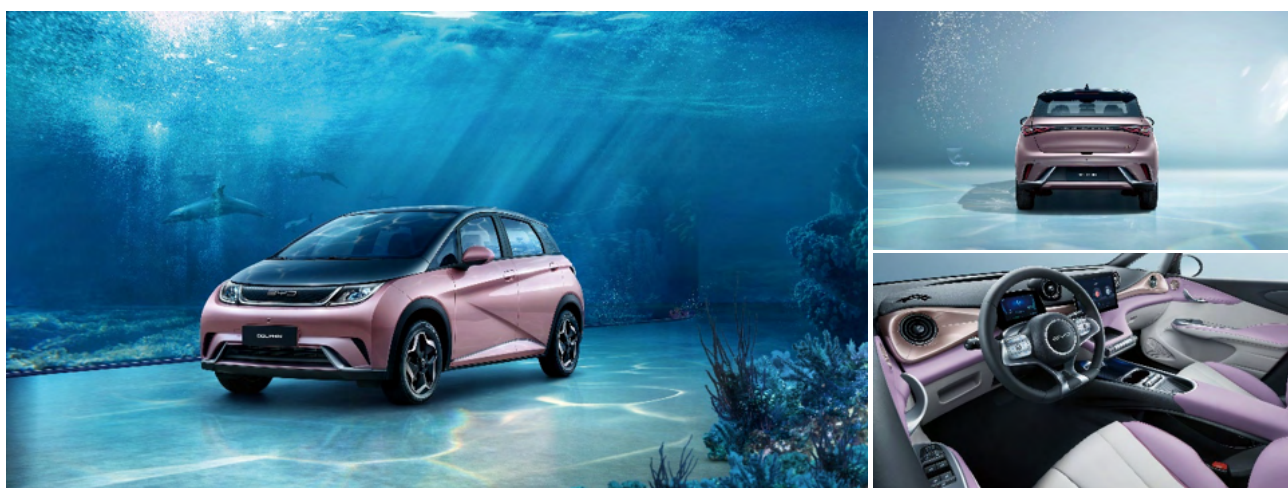


「ATTO 3」は、2022年2月に中国で販売を開始して以降、シンガポールやオーストラリアなど中国国外でも好評を得ています。BYDが独自開発した「ブレードバッテリー」を搭載したEV専用のプラットフォーム「e-Platform 3.0」を採用し485kmの航続距離（WLTC値^{*1}）と高い安全性、フラットな床面によって広い車内空間と440Lの荷室容量を実現しました。

| | |
|--------------|--------------------------|
| 車両名称 | ATTO 3（読み：アットスリー） |
| ボディタイプ | ミドルサイズ SUV |
| ボディカラー | ブルー、レッド、ホワイト、グリーン、グレー |
| 駆動方式 | FWD |
| 車両重量 | 1,750kg |
| 全長／全幅／全高 | 4,455mm／1,875mm／1,615 mm |
| ホイールベース | 2,720mm |
| 乗車定員 | 5 |
| モーター出力／トルク | 150kW／310Nm |
| 電池容量 | 58.56kWh |
| 航続距離（WLTC 値） | 485km |
| 日本発売時期 | 2023年1月 |

（※1） 自社による実測値

■さまざまなライフスタイルにマッチする e-Compact 「DOLPHIN」



2021年8月に中国で販売開始した「DOLPHIN」は、海からのインスピレーションを得て、エクステリアとインテリアの随所にイルカをイメージしたデザインが施されています。

「e-Platform 3.0」を採用し、471km（WLTC 値^{※2}）の航続距離を可能にしました。ラインナップはスタンダード、ハイグレードの2種類で、両グレードで交通標識認識システムや誤発進抑制機能などの充実した安全装備を標準搭載しています。安全性に妥協せず、日本のお客様の生活を支えるコンパクトEVです。

| | | |
|--------------|-------------------------|-----------|
| 車両名称 | DOLPHIN（読み：ドルフィン） | |
| ボディタイプ | ハッチバック | |
| 駆動方式 | FWD | |
| 全長／全幅／全高 | 4,290mm／1,770mm／1,550mm | |
| ホイールベース | 2,700mm | |
| 乗車定員 | 5 | |
| | スタンダード | ハイグレード |
| モーター出力 | 70 kW | 150 kW |
| 電池容量 | 44.9 kWh | 58.56 kWh |
| 航続距離（WLTC 値） | 386km | 471km |
| 日本発売時期 | 2023年中頃 | |

（※2） 自社による算出値

■ BYD の最新技術を結集したハイエンド e-Sedan 「SEAL」



「SEAL」は、「DOLPHIN」と同じく海からのインスピレーションを得ており、スポーティーかつエレガントなデザインを特徴としたEVセダンです。BYDが2022年5月に発表したばかりの最新モデルで、その航続距離は555km（欧州WLTP値^{※3}）に達します。

高い安全性と長い航続距離を誇るBYDの最先端技術が結集された「SEAL」が、EVの新しい選択肢となることを期待しています。

| | | |
|---------------|-------------------------|------------------------|
| 車両名称 | SEAL（読み：シール） | |
| ボディタイプ | セダン | |
| 全長／全幅／全高 | 4,800mm／1,875mm／1,460mm | |
| ホイールベース | 2,920mm | |
| 乗車定員 | 5 | |
| | スタンダード | ハイグレード |
| 駆動方式 | RWD | AWD |
| モーター出力 | 230kW | 160kW（フロント）+ 230kW（リア） |
| 電池容量 | 82.56kWh | |
| 航続距離（欧州WLTP値） | 555km | |
| 日本発売時期 | 2023年下半期 | |

（※3） 自社による算出値

【BYDの独自技術について】

■ブレードバッテリー

「ブレードバッテリー」は、BYDが2021年に発表した最新型のリン酸鉄リチウムイオン電池です。「ブレードバッテリー」の最大の特徴は、安全性です。パワーバッテリー領域における安全性試験において、最も厳しいとされる釘刺し試験や高温試験などの各種試験をクリア。大型の釘を突き刺しても発火せず、表面温度もほぼ変わらないことが証明されています。

さらに、「ブレードバッテリー」は、バッテリーセルそのものをバッテリーパックの一つの構成部品とすることで、空間利用率を従来比50%改善。これにより、安全性を担保しながらエネルギー密度を大幅に高め、航続距離を向上することに成功しました。BYDのバッテリー保証は8年/15万kmです。

■「e-Platform 3.0」

「e-Platform 3.0」は、BYDが開発したEV専用のプラットフォームです。「ブレードバッテリー」と8つのモジュールを集約した「8in1 パワーシステムアッセンブリー」を採用したことによって、安全性、デザイン・スペース性、効率性、インテリジェンスの4つを向上させました。

「ブレードバッテリー」を採用したことにより、車両の高い安全性を実現。さらに、複数のモジュールを統合したことにより、低重心かつフラットな床面で、広い車内空間とスタイリッシュなデザインを可能にしています。

また、熱帯地域でも寒冷地域でもバッテリー温度を一定に保つバッテリーマネジメントシステムなどを含む「8in1 パワーシステムアッセンブリー」とヒートポンプシステムにより、エネルギーの効率的な出力を可能にしています。インテリジェンスの面では、車両の駆動や制動、ステアリング情報を緊密に統合することによって、ドライビングにおける高度な制御や支援に繋がっています。

<8in1 パワーアッセンブリー>

駆動モーター / モーターコントローラー / トランスミッション / 車両コントローラー /
バッテリーマネジメントシステム / DCコンバーター / オンボード充電器 / 高電圧配電モジュール

【BYD ジャパンとは】

2005年に日本法人として設立したBYD ジャパンは、ソーラーパネルや産業用の蓄電システムなどの環境エネルギー事業のほか、電気自動車事業などを国内で展開しています。特に電気自動車事業では、これまで主にEVバスとEVフォークリフトを展開してまいりました。EVバスにおいては、2015年中国自動車メーカーとして初めて日本国内に電気バスを納入し、現在では北は岩手県から南は沖縄県まで、公共交通用途などで65台を納入、国内EVバスのシェア7割を占めています。EVフォークリフトは物流倉庫業界、機械・製造業界、製紙業界など幅広い業界に、約400台を納入しています。

| | |
|---------|---|
| 社名 | ビーワイディージャパン株式会社（英名：BYD JAPAN Co., Ltd.） |
| 本社所在地 | 神奈川県横浜市神奈川区栄町 10-35 ポートサイドダイヤビル 5階 |
| 事業内容 | 電気自動車事業、環境エネルギー事業、ITデバイス事業 |
| 代表取締役社長 | 劉 学亮 |

【BYD グループとは】

BYDは、1995年に中国・深圳で創業し、ITエレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティの4つの領域で事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもとより、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。特に、自動車事業においては世界70超の国と地域、400超の都市にNEVを展開し、中国国内では9年連続でNEV販売台数第1位となりました。2021年、BYDは約60万台のNEVを販売しています。

以上

※本資料の掲載内容は画像を含め、2022年7月21日（木）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

製品に関するお問い合わせ

ビーワイディージャパン株式会社

お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>

報道関係お問い合わせ

BYD ジャパン PR 事務局（株式会社プラチナム内）

担当：上田・廣谷・鈴木・佐井

Tel：03-5572-6072 / Fax：03-5572-6075 / Email：byd_pr@vectorinc.co.jp